

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	益田県土整備事務所 西部県民センター商工労政事務所	氏名	北浦 克成 池田 有士
派遣先 団体名	NPO法人 息域スペース ポコ・ア・ポコ		

① 研修の日時

平成25年9月24日(火)～27日(金) 9:00～16:00

② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)

○自主製品の作成

吸油玉、ふきとりーな(ウェス製品)

○文化活動

生け花(25日午後)



○文化活動

陶芸(27日午後)

茶碗・マグカップ・皿などを制作



○施設見学

・高齢者福祉施設雪舟園、NPO法人きずな(ひまわりの家)見学(26日午後)

・グラントワ 益田市公募写真展、企画展 見学(27日午前)

○活動の概要、経過、課題等について説明

### ③ 研修の感想

(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)

福祉の現場に参加するのは久しぶりだったので、最初は様子がわからずに、どのように振る舞ってよいのか迷っていました。しかし、それを打ち破るように利用者の皆さん、スタッフの皆さんが明るく元気に話しかけてくださって、猛烈な質問攻勢に受け答えしているうちに、あっという間に自分の迷いがなくなり皆さんと打ち解けることができました。

研修の途中、「息域スペース ポコアポコ」の名前の由来を教えてくださいました。生きるということは、ゆったり息のできること、生きる域があること、その域を行き来できること。あらゆる人がポコアポコに(すこしずつ、ぼちぼち)生きることができるスペースを提供したいという思い。実際に利用者の皆さんが楽しそうに過ごしていらっしゃる姿を見て、その思いが実現されている大変心地よい居場所だと感じました。一方で、自分自身の居場所についても改めて考えるよい機会となりました。

就労施設や福祉施設に対する行政の支援はある程度行われていますが、ポコアポコのようにその間をつなぐような取組に対して、行政としてどのように支援していくのか、今後の課題であると思います。

最後になりましたが、スタッフの皆さん、利用者の皆さん、大変お世話になりました。学んだ気づきを今後の業務や自身の生活に少しでも生かしていきたいと思います。ありがとうございました。(池田 有士)

研修初日、緊張しながら向かったのですが、終始和やかな雰囲気みなさんからよく話しかけていただき、非常にリラックスして活動することができました。黙々と作業をするというよりは、話をしながら和やかに過ごす場所という印象です。さまざまな人が利用しやすく、初めての人でも入りやすい空間になっているように思います。

ポコアポコを利用しているみなさんは、それぞれのタイミングや考えで無理のないようにゆったり活動をしておられ、自然な助け合いもできる環境になっているように感じました。私自身も日々ちりばめられた笑いの中、日を追うごとに自分が癒されているような感覚をもつことができました。

また、ポコアポコの中で活動することにとどまらず、地域との繋がりやステップアップのためのきっかけづくりといった活動も非常に印象的でした。自分のペースで生活していくために様々な利用方法ができる場所だと思います。

研修期間を過ごしてみて、地域の現状の一端を垣間見ることができました。また、こういった場所を必要としている人がいる限り、継続できることが重要であり、大変難しいことでもあると感じました。今回の研修で体験し、感じたことや縁を大切にして自らの活動や視野を広げていきたいと思っています。(北浦 克成)

### ④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)研修終了後、報告会を開催します。